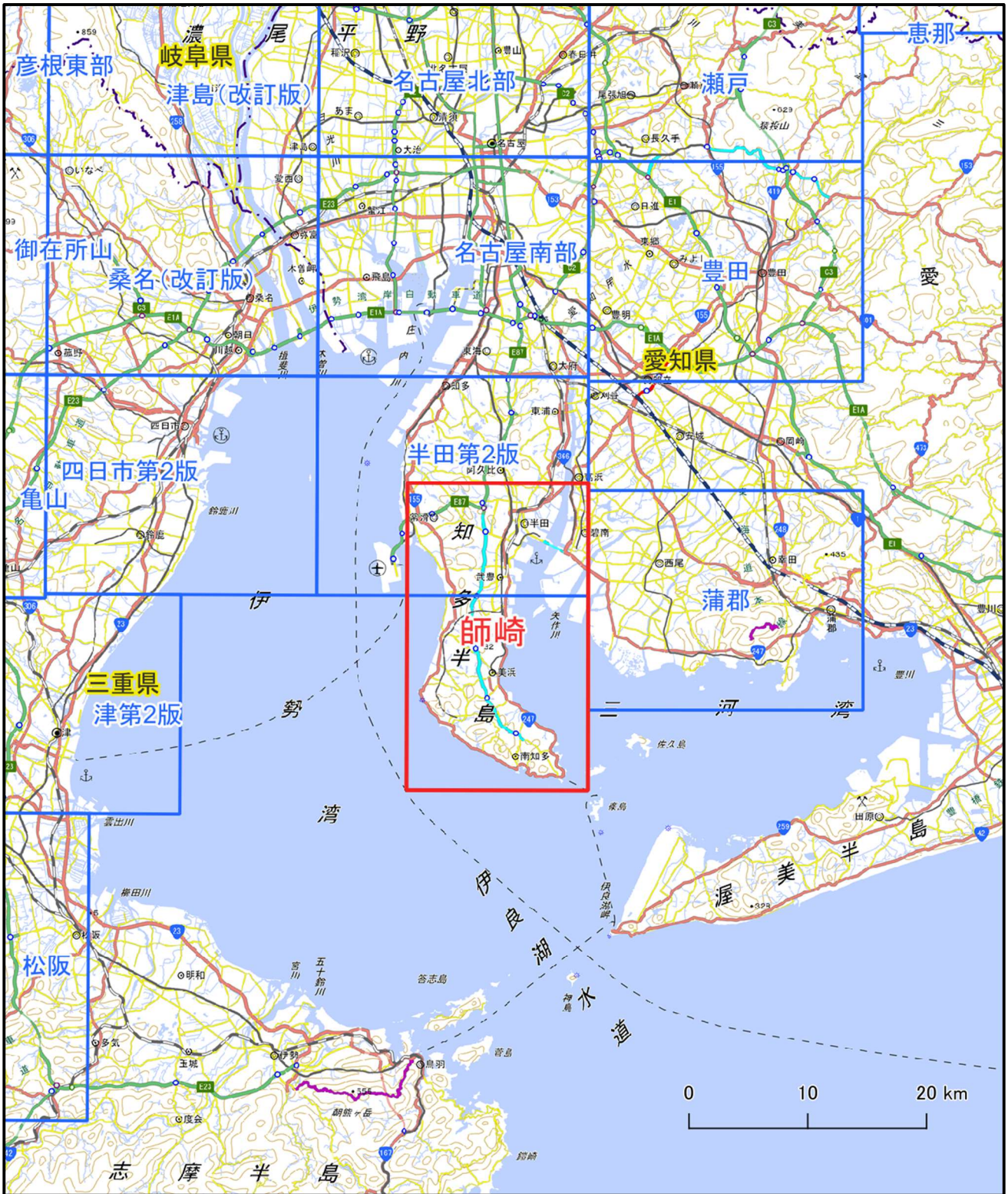


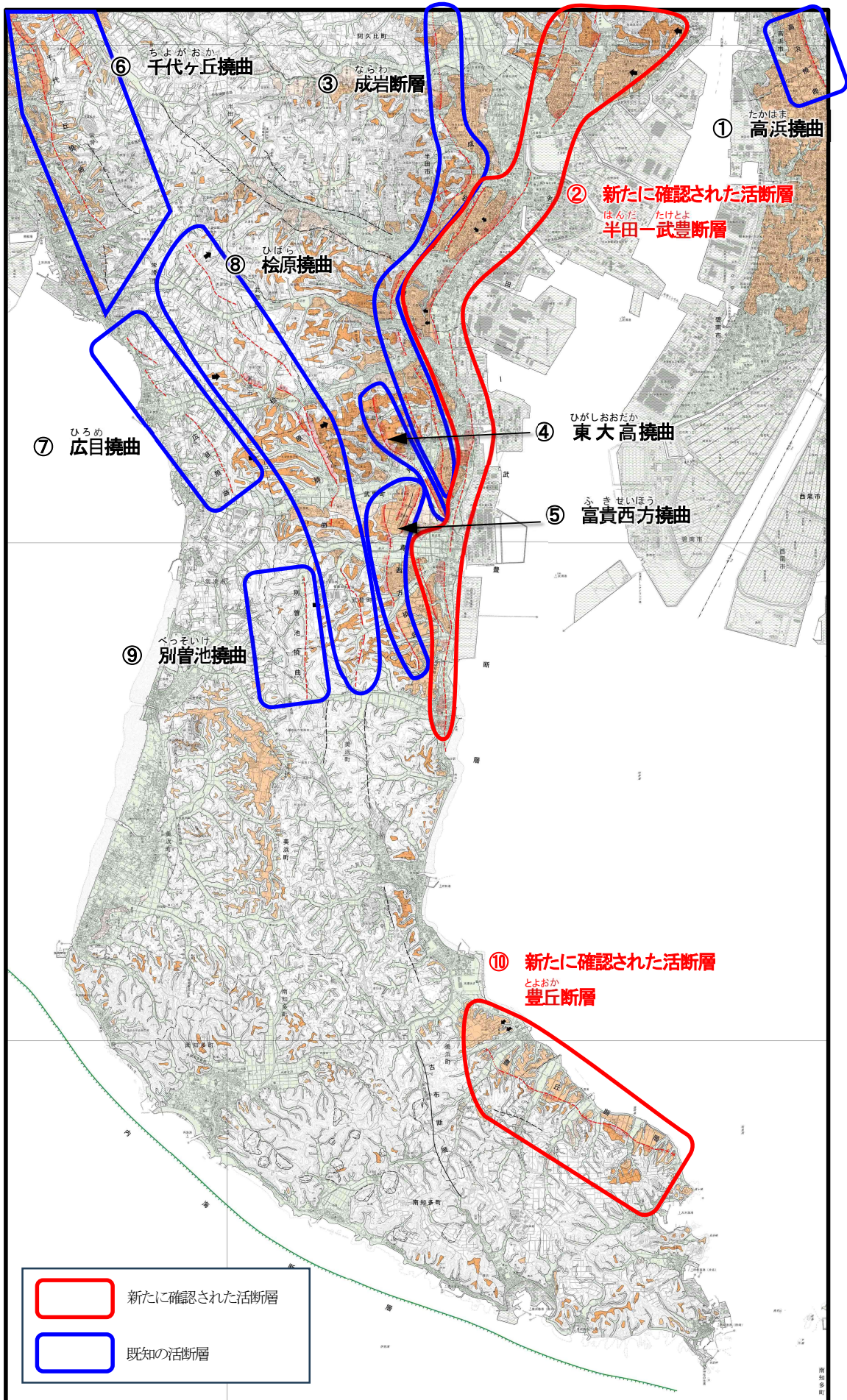
1:25,000 活断層図 屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯とその周辺「師崎」



新たな公開図郭 公開済図郭

概要

1. 1:25,000 活断層図 「師崎」



2. 今回の調査で得られたこと

「師崎」の図には、高浜^{たかはま}撓曲約 2km、新たに確認された半田^{ほんだ}—武豊^{たけとよ}断層約 14km、成岩^{ならわ}断層約 9km、東大^{ひがしおおだか}高撓曲約 3km、富貴^{ふきせいほう}西方撓曲約 3km 以上、千代ヶ丘^{ちよがおか}撓曲約 5km 以上、広目^{ひろめ}撓曲約 4km、桧原^{ひばら}撓曲約 9km、別曾池^{べっそいけ}撓曲約 2km 以上、新たに確認された豊^{とよおか}丘断層約 4km 以上と、その他の推定活断層を示しています。示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	高浜 ^{たかはま} 撓曲	高浜市から碧南市 ^{へきなん} を経て西尾市に至る活断層です。本図郭には、北西—南東走向、長さ約 2km の活撓曲 [*] の区間が表示されています。
②	半田 ^{ほんだ} —武豊 ^{たけとよ} 断層	半田市の七本木池付近から沿岸部に沿うように湾曲しながら南下し、武豊町を經由して美浜町大池まで北北東—南南西方向に延びる活断層で、本図郭では長さ約 14km の区間が表示されています。活撓曲 [*] を主体とし、一部に縦ずれ [*] の変位、傾動（隆起により地表が傾く運動）を伴います。 <u>本断層は今回の調査で新たに確認された活断層です。</u>
③	成岩 ^{ならわ} 断層	阿久比町植大 ^{あぐい うえだい} から矢勝川を越え半田市に入り、同市白山町付近や花園町付近まで度々湾曲しながら武豊町廻間 ^{ほざま} までほぼ南北方向に延びる活断層で、本図郭では長さ約 9km の区間が表示されています。一部に活撓曲 [*] 、縦ずれ [*] の変位、伏在部を伴います。
④	東大 ^{ひがしおおだか} 高撓曲	武豊町長宗 ^{ながむね} から堀川を經由し、同町東大高まで段丘面を切るように北西—南東方向に延びる長さ約 3km の活断層です。活撓曲 [*] を主体とし、一部に活褶曲 [*] 、縦ずれ [*] の変位を伴います。
⑤	富貴 ^{ふきせいほう} 西方撓曲	武豊町白山から同町富貴の西方を經由して美浜町平田まで、ほぼ南北方向に延びる長さ約 3km 以上の活断層です。活撓曲 [*] を主体とし、一部に活褶曲 [*] 、縦ずれ [*] の変位を伴います。
⑥	千代ヶ丘 ^{ちよがおか} 撓曲	千代ヶ丘撓曲は、常滑市若松町 ^{とこなめ} から同市泉町まで、丘陵部を北北西—南南東方向に延びる活断層で、本図郭では推定活断層を含む長さ約 5km 以上の区間が表示されています。断層北部に顕著な活撓曲 [*] を伴います。
⑦	広目 ^{ひろめ} 撓曲	常滑市唐崎町 ^{からさき} から同市大谷まで北北西—南南東方向に延びる長さ約 4km、3 条の活断層です。一部に傾動（隆起により地表が傾く運動）を伴います。
⑧	桧原 ^{ひばら} 撓曲	常滑市新池 ^{にいけ} から同市の桧原大池 ^{ひばらおおいけ} 付近、武豊町を經由して美浜町の布土川 ^{ふつと} 付近まで、丘陵部を北西—南東方向に延びる、推定活断層を含む長さ約 9km の活断層です。断層中央部に顕著な活撓曲 [*] 、一部に活褶曲 [*] 、縦ずれ [*] の変位、傾動（隆起により地表が傾く運動）を伴います。
⑨	別曾池 ^{べっそ} 撓曲	武豊町の別曾池から美浜町の布土川付近まで丘陵部をほぼ南北方向に延びる長さ約 2km 以上の活断層です。

⑩	とよおか 豊丘断層	<p>美浜町豊丘から南知多町の<small>とびがさき</small>鳶ヶ崎付近まで段丘面上を北西—南東方向に延びる、推定活断層を含む長さ約4km以上の活断層です。活撓曲[※]を主体とし、一部に縦ずれの変位[※]、傾動（隆起により地表が傾く運動）、伏在部を伴います。</p> <p><u>本断層は今回の調査で新たに確認された活断層です。</u></p>
---	--------------	--

※ 印は、参考資料2の「7.用語の説明」を参照